

ほっかいどうの社会保障

2011年11月30日

北海道社会保障推進協議会

Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

後期高齢者からの差押の内訳判明 114円の差押も

11月25日(金)、北海道広域連合議会でも、差し押さえ問題が取り上げられました。担当者からは、「資力があるにも関わらず納付していただかない悪質な滞納者にとっての方法として差押えを実施している。実施する場合には生活状況を十分に把握した上で市町村において各種実施している」と回答し、自治体の判断を尊重して行っていると具体的な内容についての説明はありませんでした。

既報で市町村別件数をお知らせしましたが、内訳も明らかになりました(左表)。道社保協としても、次期保険料値上げ問題と合わせて、広域連合と懇談する予定です。



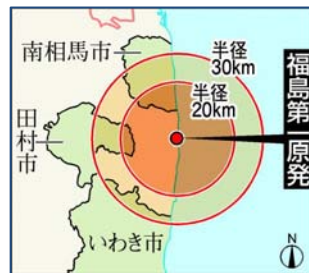
2010年度	差押件数	内訳					差押金額
		預貯金	生命保険	不動産	国税還付金	年金	
北見市	8	8	0	0	0	0	311,300
夕張市	2	0	0	0	1	1	185,600
網走市	6	3	0	0	0	3	446,200
芦別市	11	9	0	0	2	0	122,043
赤平市	6	1	0	0	2	3	251,986
名寄市	13	1	1	0	11	0	1,854,222
三笠市	2	2	0	0	0	0	221,800
滝川市	1	1	0	0	0	0	114
砂川市	1	1	0	0	0	0	4,000
富良野市	2	1	0	0	1	0	68,727
北斗市	13	8	1	0	1	3	579,755
八雲町	1	1	0	0	0	0	195,400
倶知安町	1	1	0	0	0	0	83,500
仁木町	1	1	0	0	0	0	8,000
栗山町	1	1	0	0	0	0	21,500
羽幌町	1	0	0	0	1	0	11,600
斜里町	6	6	0	0	0	0	54,000
遠軽町	2	1	0	1	0	0	163,200
豊浦町	4	4	0	0	0	0	160,432
浦河町	2	0	0	0	1	1	814,900
釧路町	3	0	0	0	0	3	209,000
計	87	50	2	1	20	14	5,767,279

110件の相談 南相馬市の農家からも

雇用・暮らしSOSネットワークは25日、札幌市大通地下歩行空間で街頭相談会(11回目)をひらき、10時30分から18時までに110件の切実な相談が寄せられました。「失業し、現在はパソコン教室を受講し訓練給付金が12月末にでる。10万円では家賃も払えないので住宅手当も受給している。それでも灯油代など払うとマイナスになる(50代男性)」との相談。後日生活保護を申請することになりました。「夫が経営していた広告代理店が不況で経営難に。サラ金から500万円借金がある。夫とは離婚し生活保護を考えている。娘が私立高校に通っているが、生活保護では公立高校並しか手当てされない(40代女性)」などの相談が相次ぎ、深刻な雇用状況とセーフティネット脆弱さがあらためて浮き彫りになりました。「雇用・暮らしSOSネット北海道ニュースより」

「せめて妻の医療費を何とかして」福島からの避難者相談会

道南勤医協は、22日に函館市内で、福島からの避難者を対象に相談会を行いました。いわき市から避難している方(4月に病気で避難できない妻を地元に残し別々の世帯で生活している40代男性)が訪れました。いわき市は、福島原発から35kmしか離れていませんが、自主避難区域のため経済的な保障は全くありません。地元では仕事がないため二重生活、「せめて妻の医療費をなんとかできないか」という相談でした。現在は住んでいない自宅のローンもあります。地元の行政機関等とも離れているため相談ができずいたとのこと。函館稜北病院のSWが地元の行政機関と相談を続けていくことにしました。相談会は、函館市と協力して被災者にチラシを郵送して呼びかけたものです。道南勤医協では、引き続き避難者への支援を続けていくことにしています。(北海道民医連ニュースより)



30日には、札幌西区でも相談会が行われました(詳細は後日紹介します)。

12月19日(月) 10:30~18:00は、札幌市大通地下歩行空間で「労働と生活の総合相談会」(反貧困ネット北海道)です